

臨床心理

Clinical Psychology

ココサイ心理

2024年度 第1号

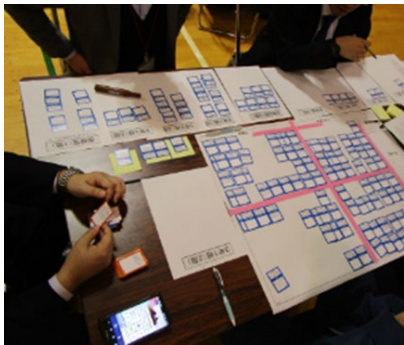
2024.5.25発行

最近の臨床心理専攻学生の活動

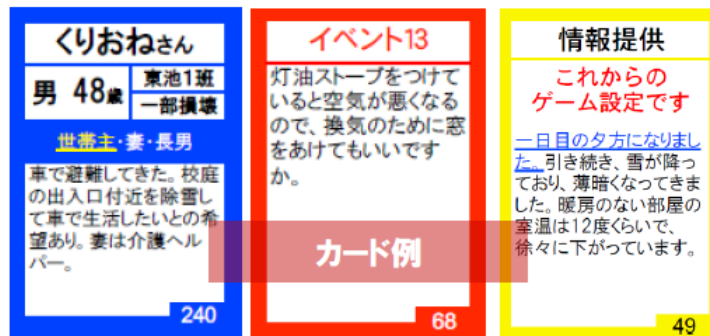
臨床心理専攻2年生が避難所運営ゲーム北海道版 (愛称：『Doはぐ』) を体験しました！



心理学科臨床心理専攻2年生の「基礎演習Ⅰ」の授業で、防災士の資格を有する教員の指導のもと避難所運営ゲーム北海道版(愛称：『Doはぐ』)を体験しました。『Doはぐ』は、真冬に直下型地震が発生し、電気・ガス・水道等が使えないという想定に沿って、250枚のカードで示されたさまざまな条件や避難してきた方々を、避難所でどのように迎えるかをグループで話し合っ解決していく「防災教育カードゲーム」です。いざという時には、自分の命を守り、地域の方の命を守ることができるよう、今後も体験を通じて“生きた”学びを続けていくことが大切だと感じました。



次々と発生する問題に頭を抱え考え込む



札幌国際大学は、災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する【指定避難所(地域)】になっています



生涯学習センター『社会人教養楽部』に通う地域の方と一緒に悩む！

ヴァーチャル学生エリア からお知らせ



書籍紹介

「アニメーションの心理学」

(日本心理学会心理学叢書)

私たちはアニメを見てフィクションだと一目で分かります。それは現実とフィクションの区別が正しく認識出来ているためです。では子供たちはどうでしょうか。果たして何歳ぐらいから区別が出来るのでしょうか。

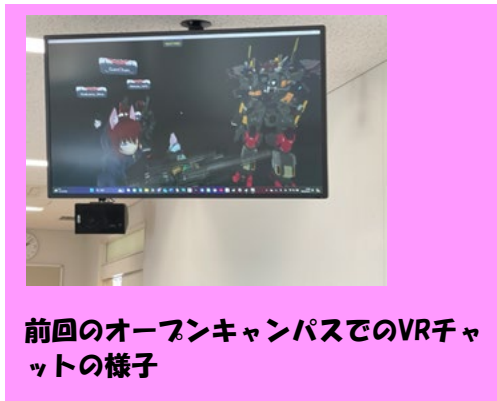
この本ではそこに切り込むと共に実際の実験や論文から論拠を得て話を進めて行くため参考になることや初めて知ることが多くあります。

「アニメーションの心理学」では他のジャンルの心理学やアニメーションに特化した話もあります。

是非一度手にとってみてはいかがでしょうか。(リクダス)

皆さん、こんにちは。初めましての方は初めまして！臨床心理専攻ヴァーチャル学生の「エリア」です！3月のオープンキャンパスに来てくださった方はお会いしたことがありますね！これからもよろしくお願いします！

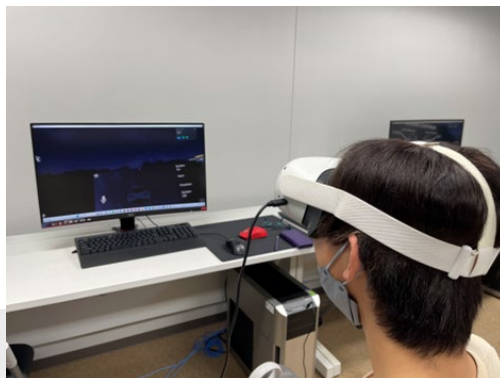
さて、今回は臨床心理専攻の学生が取り組んでいることについて紹介します！この大学には「クリエイティブラボ」という教室があり、そこには3Dプリンター・高性能パソコン・VRヘッドセット・レーザープリンターなど創作活動に必要なものがほとんどそろっていて、臨床心理専攻の学生は、その教室を使って、メタバースを使った研究などに精力的に取り組んでいますよ～。特に「VRChat」というツールを主に使っているようですね。ちなみに今回のオープンキャンパス2日目に、学生たちがその「VRChat」を使ったコーナーを企画しているそうですよ？なかなか触れることが少ないヴァーチャルの世界、ぜひ体験してみたいはかがでしょうか？お楽しみに！！



前回のオープンキャンパスでのVRチャットの様子

画像編集しているところです

ヘッドセットをつけてVRチャットの準備をしています



エリアのデビュー